

北小木地区（多治見市）

令和元年度事例

【地域の概要】

- 多治見市の西北西に位置し、犬山市に隣接する。
- JR東海太多線姫駅から南南西方向へ約3キロの場所にあり、北小木の集落は小さな山間盆地である。
- 地区内の農地（約8ha）は、9割が水田として利用されている。

取組開始前の状況や課題

○農業者の高齢化及び減少により遊休農地が増え、地区の永続的な農業の維持が危ぶまれている。

○令和2年度の集落営農組織の法人化に向け、地区内の農地状況の把握作業を実施し、農地の集積計画を進めている。

取組内容

○令和元年7月に法人化に向けた第1回検討会を関係者、県、農業委員会事務局、JAが集まり開催した。

○9月以降月1回検討会を実施。農業経営改善スペシャリストとの相談を含め法人化への準備を行っている。

○令和2年2月の検討会では、近隣の営農組合活動事例を紹介し、協議を行った。



第1回検討会の様子

今後の展開と方向性

法人化に向けての予定（令和2年）

- 定款の作成（4月）
- 法人役員・名称の決定（6月）
- 設立総会準備（7～8月）
- 地権者説明会（8月）
- 設立総会開催（10月）
- 農地中間管理事業県公告（12月）